



朝日工業社

2025 年4月 16 日

報道関係各位

株式会社朝日工業社

～脱炭素社会に向けた取り組みを加速～
**豊富工場への太陽光発電導入と本社・本店ビルの
実質再生エネルギー電力化で年間約 477 톤の CO₂削減へ**

株式会社朝日工業社(本社:東京都港区、代表取締役社長:高須 康有)は、機器製造販売を行う千葉県船橋市の豊富工場に太陽光パネルを設置し、2025 年 4 月より稼働を開始したほか、港区の本社・本店ビルにおいて実質再生可能エネルギー由来の電力への切り替えを実施しました。



豊富工場に設置した太陽光パネル

豊富工場の敷地内に設置した太陽光パネルは、総枚数 988 枚、発電容量 607.62kW で年間約 60 万 kWh の発電能力を有します。これは同工場で使用する電力の約 20%に相当する予定であり、年間約 242 톤の CO₂を削減することができると見込んでいます。

また、本社・本店ビルでは年間約 60 万 kwh の使用電力を実質再生可能エネルギーに切り替えることで、年間約 235 톤の CO₂を削減することが可能になると想定しています。

朝日工業社グループは、2022 年 3 月に「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」による提言への賛同を表明しました。同時に、TCFD コンソーシアムへ加入しており、TCFD 提言に沿った情報を開示しています。そのなかで、Scope1+2 における温室効果ガス排出量を 2030 年度までに 2019 年度比で 65%、2050 年度までに 100%削減することを目標に掲げており、今回の取り組みはこの目標の実現に向けて大きく前進するものだと考えています。

当社グループは今後も温室効果ガス排出量の削減に向けて、これまで培ってきた技術力を生かして省エネルギーや脱炭素に関わる技術と製品の開発を積極的に進めるとともに、太陽光発電設備の導入や再生可能エネルギーの活用などによる自社の温室効果ガス排出量の削減に取り組み、脱炭素社会への貢献、および当社の持続可能な成長と中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

朝日工業社グループの気候変動への対応

[https://www.asahikogyosha.co.jp/sustainability/environment/climate change/](https://www.asahikogyosha.co.jp/sustainability/environment/climate_change/)

以 上

【株式会社朝日工業社について】 <https://www.asahikogyosha.co.jp>

朝日工業社は、1925年の創立以来、「空気・水・熱の科学に基づく高度な技術によって最適空間を創造する」ことを使命とし、設備工事業および機器製造販売事業を展開しています。

空気・水・熱をコントロールする技術で、工場や研究所、データセンターなど様々な建物の空調、衛生設備の設計・施工や、半導体、液晶装置メーカー向けの精密環境制御機器の開発設計・製造・販売を行い、「快適環境」「最適空間」の創造に取り組んでいます。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社朝日工業社 広報・IR室
担当: 杉山

TEL: 03-6452-8181 E-mail: koho-t41@asahikogyosha.co.jp